

会 議 要 録

会 議 名	第21回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	平成28年1月22日（金） 午後2時～4時（2時間）		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者（敬称略）	委 員	早川 百合枝、馬場 總和、清水 栄、町田 照良、横山 侑亮、 綿田 直樹、内田 智、酢屋 善元、鶴我 能史、実川 明美、 小澤 篤子 計11名	計16名
	説 明 者	（委員、事務局等）	
	事 務 局 等	藤倉生活安全部長、宮木防犯課長、安岡主査、手塚主査、川口主事 計 5名	
欠席者（敬称略）	徳丸 美沙、鈴木 麗加、梶原 正統、八代 善一郎（代理人：細川新一）、山崎 広行（代理人：増田和昭）、尾形 紀雄（代理人：田中信夫）、廣瀬 勉 計7名		
議 題	1 平成27年度 生活安全対策 事業実績報告について 2 市内の犯罪発生状況と対策について 3 各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策等について 4 その他		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1：平成27年度 生活安全対策 事業実績報告 ● 資料2：平成27年11月末犯罪発生状況対比表 ● 資料2-2：八王子市内 振り込め詐欺などの特殊詐欺被害 ● 資料3：勧告書 ● 最新委員名簿 		} 事前配布
会 議 の 内 容	（次のとおり）		
会 議 録 署 名 人	平成28年 3月 1日 署名人 綿田 直樹		

会議の内容 【 】：発言者（敬称略）

1 開 会

【宮木課長（事務局）】

- ・ 配布資料の確認

2 部長挨拶

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 日頃より委員の皆様には本市生活安全対策に様々な形でご協力を賜り御礼申し上げます。
- ・ 本市は昨年4月に中核市へと移行した。また、平成29年には市政100周年を迎え、それに向け都市緑化フェアの開催などを多くの新たな事業を展開しているところである。
- ・ 昨年12月には、まちひとしごと創生総合戦略を策定し魅力ある街づくりに取り組んでいるところである。その中で生活安全対策は本市の重要な対策と位置付けられている。さらに充実させる必要があると考える。6月の会議に引き続き、委員のみなさまには関係機関同士の情報共有、意見交換を通じてさらなる市民の安全安心の向上のためご協力をお願いしたい。

3 開催

【綿田会長】

- ・ ただいまより第21回生活安全対策協議会を開催する。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 欠席連絡
- ・ 代理出席の紹介
- ・ 委員の改選について
- ・ 本会員でおられた秋山國男委員は、昨年夏にお亡くなりになられたので、ご報告いたすとともにご冥福をお祈り申し上げます。
- ・ 市民公募委員枠の欠員については、1月15日号の広報誌及び市のホームページにて募集しており、4月に就任していただく予定です。

■協議会の成立

- ・ 委員総数18名のうち現時点で10名の委員が出席されており、過半数を超えたため、本協議会は成立する。

■情報公開

- ・ 本協議会は、条例施行規則第6条9項に基づき原則公開となっているが、傍聴人はおりません。

新任委員の紹介

【綿田会長】

- ・ 人事異動に伴う委員の改選があったため、自己紹介を願いたい。

【鶴我委員】

- ・ 昨年9月7日付で高尾警察署生活安全課長に着任した鶴我です。第9方面では、以前は八王子警察署にもいたことがありましたが、今後ともよろしく願いいたします。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 前回会議（第20回）の中で、「つきまとい行為に対する勧告書」をお見せすることになっていたので資料3として配布している。この勧告は指導、警告をしてもなお行為をやめない場合に、個人や法人に対し行われる。

議題1 事業実績報告

【安岡（事務局）】

- ・ 資料1に沿って説明。

（以下資料補足）

■自主防犯活動への支援

- ・ 地域防犯リーダー養成講習会を開催した。今年も日本ガーディアンエンジェルス（自主防犯活動の草分け的団体）に講師を毎年お願いしている。
- ・ 自主防犯パトロール写真展も市役所本庁舎及び南口総合事務所にて開催した。町会自治会の方が地域のために活動している様子を見ていただくことで、活動される市民のすそ野を広げることが目的としている。

■八王子駅周辺の安全対策

- ・ 駅周辺のつきまとい行為に対して、しつこいつきまとい行為に対して指導、警告している。平成25年度から平成26年度に数値が倍増しているのは、件数の増加ではなく、生活安全安心指導員（警察官OB）の数を4人から6人に増員し巡回強化により、取締件数の増加につながった。

■客引き・スカウト行為等防止パトロール

- ・ 生活安全・安心指導員に加えて、駅周辺町会や商店会からご推薦いただいている市民指導員は各回5～6人程度の方に御協力いただいている。
- ・ 客引きの数はパトロール開始した1年半前よりは減ってきているものの、最近また増えてきているということもわかっており、いちごっこ的な要素もあるので駅周辺安全対策協議会の中でも警察を交えて、対策を協議しながらより良いまちづくりを目指していきたい。

■キッズパトロール隊防犯教室

- ・ 小中学生対象の防犯教室。特に楽しみながら活動しており、特にチラシ配布においては、子どもたちからの配布ということで高齢の方がよく受け取り、短時間で大量のチラシ配布ができた。

■子どもを守る事故犯罪ゼロ作戦の展開

- ・ 夏休み・冬休みの他に春休みにおいても実施しており、河川にいる子どもたちに声をかける、メール配信を行った。

■防犯・防災フェア

- ・ 平成26年度からはじまった防犯・防災フェアですが、スタンプラリー等で楽しく学べるイベントで八王子駅の南口広場で開催予定である。昨年も、2000人もの方々に楽しんでいただいた。
- ・ 警察犬のデモンストレーション等も実施予定。
- ・ 平成28年度は南大沢駅近辺にて、実施予定である。その際は、南大沢警察署のご協力を賜りたい。

質疑応答

【綿田会長】

- ・ 八王子市の空き家条例に関して、相談件数61件、というのは空いてる件数ではなく、問題のある空き家の総数ということでしょうか。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 空き家の周辺の市民から不安な空き家があるとの相談を受けて、対応するのでその件数が相談件数。そこから条例に該当するものが適用件数である。家屋の破損が見られず、草木の繁茂が問題となっているものに関しては条例適用外になる。

【綿田会長】

- ・ 条例適用件数と解決件数の差は、未だ調査中ということでしょうか。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 調査中、または指導中となります。

議題2 市内犯罪発生状況について

【手塚（事務局）】

- ・ 資料2に沿って説明

（以下資料補足）

- ・ 八王子市における全刑法犯の件数は都内61市区町村中ワースト12位であった。
- ・ 八王子市の刑法犯認知件数のピーク平成12年で11,852件。この年を境に年々減少。昨年には4,853件に至った。この数値は、昭和54年の刑法犯認知件数とほぼ一致している。36年前に戻ったと言える。

- ・ オートバイ盗と自転車盗に関しては都内ワースト2位であり不名誉な結果であるため、今後対策を協議し、刑法犯を1件でも減少させていきたい。

資料2-2に沿って説明

(以下資料補足)

- ・ 特殊詐欺に関する電話が集中した際には、青パトによる広報やメール配信をして、注意喚起している。

質疑応答

【町田副会長】

- ・ 資料2の中で、八王子市が都内ワースト2位になってしまっている自動車盗等は自動車やオートバイの保管場所が問題なのか。

【手塚（事務局）】

- ・ オートバイ盗に関していうと保管場所というよりは、八王子市は大学が多いため被害者も学生が占める割合が高い。その対策として、一昨年は各大学に行って注意喚起を行っている。
- ・ そのほかの理由としては、八王子は暗い場所も多く、そのような場所が狙われている。

【町田副会長】

- ・ 市商連でも話がでたが、振り込め詐欺対策で金融機関が必要以上に振り込み限度額を低めに設定している。郵便局は特に厳しく設定されており、詐欺被害に関して効果が出ている一方で、商いをしている場合、やり取りする金額が大きいため振り込みを数回に分ける手間が生じている。経済流通に関して言えばハードルが上がってしまったと感じる。詐欺グループの現金受け取り手段が手渡しになる等、変化してきているので調整も必要ではないかと考える。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 高齢者による高額の引出しに対しては、使い道を尋ねたり声を掛けたりしているが、依然被害に遭うかたもいるので、金額設定されている。加えて、最近レターパックで現金を送付させる手口も増えてきている。

【内田委員】

- ・ 余談だが、振り込め詐欺の関連だが、福生で一人が1億2千万を振り込んでしまった事例があった。

議題3 各警察署管内の犯罪発生状況と対策

【増田代理】

- ・ 八王子警察署管内での平成27年中の警視庁指定重点犯罪（八罪種：特殊詐欺・侵入窃盗・ひったくり・強盗・性犯罪・自動車盗・車上狙い・子どもを狙った犯罪）229件（前年比-46件）いずれも減少している。
- ・ 昨年の被害額は3,578万円（前年比-6,018万円）特殊詐欺25件（オレオレ詐欺15件、架空請求詐欺8件、還付金詐欺2件）、オレオレ詐欺被害者は依然として高齢者が多い。
- ・ 有料サイト閲覧で未納料金があるという、架空請求詐欺に関しては若い方から50歳代まで幅広い。
- ・ 犯罪発生地区には、パトカー巡回による警戒や、防犯講話、メール配信サービスにて啓発に努めている。関係機関と連携し、今後も犯罪抑止に努めたい。
- ・ 昨年は大和田町にて強盗があったが、防犯カメラの解析によりスピード検挙に至った。八王子市民のため一丸となってこれからも安全安心に努めたい。

【鶴我委員】

- ・ 高尾警察署管内での平成27年中の警視庁指定重点犯罪（八罪種）は129件（前年比+11件）、中でも、強盗3件（前年比+1件）、ひったくり1件（-7件）、侵入窃盗68件（+12件）、特殊詐欺18件（+6件）であった。
- ・ 侵入窃盗の手口は、鍵のかけ忘れや夏場の網戸での外出等が狙われたのが24件あり、侵入窃盗の約3割を占めている。今後件数がマイナスになるよう今後も取り組んでいく。
- ・ また、その他の窃盗で昨年からはタイヤ盗難が毎月発生しており、一昨日被疑者を検挙した。
- ・ その他では、痴漢15件（-15件）、自転車盗16件（-34件）、オートバイ盗52件（-17件）で犯罪抑止効果が見られた。
- ・ 今後は平成27年増加に転じた侵入窃盗や特殊詐欺対策に重点的に取り組みたい。お宅訪問や防犯広報をして犯罪の抑止に努めたい。

【実川委員】

- ・ 南大沢警察署管内には八王子市と町田市一部を管轄しており、統計データもその合算になるが、指定重点犯罪は平成27年は159件（前年比-2件）、そのうち特殊詐欺30件（+1件）、被害額6,400万円（-3,500万円）のうち4件は検挙でき未遂にすることができた。
- ・ 南大沢署もあらゆる手段を尽くしており、ケアマネージャー、金融機関にも話をして連携しているが、それでも被害はなくなる。高齢者はもちろんだが、子どもにも祖父母に振り込め詐欺の話をするよう話している。被害に遭ったお金は、決して被害者には戻らないお金なので、決して被害を増やしてはいけない。
- ・ また、警察から詐欺被害にあっていないか尋ねられて初めて気づくこともあり、何度もだまされてしまっていた事例もある。
- ・ 郵便局と連携した事業としては、年賀状や暑中見舞いを利用して詐欺被害の注意喚起文を載せ、

配達してもらった。

- ・ 架空請求詐欺は増加した。アダルトサイトの利用に関するものや、アマゾンのギフトカードをコンビニで購入させて、IDを聞き出し現金を抜かれる手口もあり、これに関しては、コンビニにもアマゾンのギフトカードを購入される方に対し声掛けをするよう依頼している。
- ・ 特殊詐欺が平成28年に入って、1件起きてしまっている。タンス預金を渡してしまったこともあり、金融機関等で防ぐことができなかった。今後も対策を講じていきたい。
- ・ 平成27年全刑法犯1,737件（前年比+24件）南大沢署は平成22年に開署となったため、そこからのデータしかないが、開署当初の3,018件から見るとかなり減少している。しかし自転車盗518件（+62件）と大学校内の自転車盗が多く、大学生同士で盗難にあうこともあった。大学にお願いし、貼り紙や注意喚起をして施錠を勧めているのが功を奏したのか大学校内の件数は減少してきている。今後は駅の駐輪場でも、このような啓発を行いたい。
- ・ キッズパトロール隊防犯教室は、大変好評であり、もっとやりたいという声があり、ぜひ継続してほしい。活動を通じて子どもの非行防止にもつながるので、またお願いしたい。

質疑応答→なし

議題4 その他

【安岡（事務局）】

- ・ 自動通話録音機に関しては前回説明したとおり、6月の初回時は、八王子署100台、高尾署40台、南大沢署80台、本市200台、10月に追加で三警察署計30台、本市150台、計180台の貸与があった。現在は、八王子署、高尾署は配布をすべて終了し、南大沢署も残り数台、本市も今日現在残すところ4台となっている。都は、さらなる追加貸与が決定しており、本市も100～200台希望しているところである。届き次第、配布したい。
- ・ それと合わせて、今回皆様にお集まりいただいているので、特殊詐欺等の犯罪をどうしたら防ぐことができるか、感想でもいいのでそれぞれの立ち場からご意見いただきたい。

【綿田会長】

- ・ せっかくの機会なので、順番に伺いたい。

【早川委員】

- ・ 元本郷公園は年に数回刈込があるが、それ以外は有志が清掃している。きれいにしていると犯罪が起きにくいと、自身も犯罪心理学を学んだ経験がある。親の目の届かないところに犯罪が起きやすいことはわかってきた。
- ・ 市民一人ひとりが、住まいの身近なところからきれいにしていってはどうか、各自治会に伝えていただきたい。
- ・ 児童館では市が補助をして、ボランティアを募り、絆を作るといいのではないか。各町会でも会館を利用して絆をとったらどうかと思う。

- ・ 大自然で一人になると一人では生きていけないと気付くことができ、相手を大切にする精神が育つ。そこから性犯罪が減少するのではないか。
- ・ 学校教育として、日本の美しい四季を味わう機会を与えていただきたい。
- ・ 第一次産業の働く喜びを味わう機会を作り、自活できる教育が必要である。

【馬場委員】

- ・ 計画を立てれば、そのような申請ができるのではないか。町会によって、意見が異なるので、町会でどのような活動をしているか話し合うことが必要だ。

【清水委員】

- ・ つきまといパトロール、生活安全パトロールも参加しているが、みんなで巡回すると、さまざまな気づきを得られるので今後もぜひ継続したい。
- ・ 地域コミュニティの強化、すぐに話せる居場所づくり、また空き店舗を利用した取り組み等、地域づくりが求められている。

【内田委員】

- ・ 元本郷町の町会長から聞いた話だが、町民会館のガラスが6枚割られた。それに伴い、防犯カメラを設置し、約12万円の費用がかかった。会館への防犯カメラの設置は補助が出るようにならないか。
- ・ 以前、加住地域交流会で小学生を対象に防犯講話をした。今年は話の中で子どもたちに、「好きなことを見つけること」、「いじめはしないこと」、「万引きはしないこと」を中心に話をした。
- ・ また、各町会長が参加し、餅つき、豚汁600人分配給した。地域交流、地域見守り、青少年健全育成の観点からも、とてもいいと感じ、今年も取り組んだ。

【酔屋会長】

- ・ 犯罪発生を減らそうではなく、ゼロにしようと言っているが、1件発生してしまい残念である。南大沢署管内は盛り場や暴力団事務所がない。三署の中でも、特殊詐欺被害の金額が多いことからお金持ちが多いことがわかる。自動通話録音機が絶大な効果があるなら売って、対象の方々に買ってもらうことも考えているが、いくらぐらいするのか。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 今貸与しているものは、1万円程度のものであるが、同等の機能がついた電話機もあり、留守番電話にしておくのも一つの方法である。市のホームページでも、紹介しているところである。

【酔屋委員】

- ・ 以前、粗大ごみの収集でだまされる犯罪も起きていると聞いている。自宅付近にもそのようなトラックが来るので、事実であれば注意喚起していきたい。

【宮木課長（事務局）】

- ・トラックで粗大ごみの収集をしている業者があり、無料で収集とアナウンスしているにも関わらず、実際は高額な料金を請求することでトラブルとなっている。

【田中代理】

- ・町会自治会で年末防犯パトロールを兼ねて、火災予防もやっているのもので警火心に役立っている。子どもも巻き込んで、パトロールや防火にも気を付けてほしい。

【小澤委員】

- ・今の時代なかなか親だけでは子供たちを見守れないこともあるので、地域で見守っていただきたい。
- ・以前、自宅固定電話「かにはいかが？」という電話がしつこくかかっていたり、携帯電話にも「今すぐ連絡すれば999万円振り込みます。」というメールが何度もきて、そのメールを無視しているとさらには「善意になぜ応えないのか」と徐々に脅迫めいた内容に変わった。このような電話やメールを信じてしまったり、脅迫に怯えて支払ってしまう人がいるのかと考えさせられたが、実際はどのような対応をするのが最善なのか。

【宮木課長（事務局）】

- ・電話であれば番号を拒否にし、メールであればアドレスをブロックして相手にしない。身に覚えのない請求には従う必要はない。

【綿田会長】

- ・携帯電話ショップでも、フィルタリングサービス等があるので、相談するのも一つの方法である。

【細川代理】

- ・昨年、警察より駅にて受け子と接触しそうな方がいるとの連絡を受けて、該当の方を保護したことがあるが、説明しても、だまされていることを信じようとせず、本当に犯人に信じ込まされていると実感した。
- ・金融機関のように特殊詐欺被害を防いだりすることはできないが、啓発活動等協力できることがあれば積極的に協力したい。

【横山委員】

- ・同じように駅構内で現金の引き渡しがあったが、未遂に終わった事例もあるので、今後も特殊詐欺に限らず、警察等協力できることはします。啓発・掲示も協力できます。

【綿田会長】

- ・ その他ご意見等ありますか。

【早川委員】

- ・ 植え込みの手入れについて、前回シルバー人材センターに頼むことを依頼したが、その後どうなっているか。
- ・ 植え込みも資産であるので、枯れ枝を取ったり、肥料をやっていく必要がある。美しく咲けば人々は感動する。

【宮木課長（事務局）】

- ・ 公園アドプト制度があるので、公園の手入れ等の管理は市民にお願いしている。

【早川委員】

- ・ 遊具のペンキも剥がれたりしているので、子どもたちのためにきれいにしてほしい。公園課に言っても、すぐに対応してくれない。

【藤倉部長（事務局）】

- ・ 遊具の管理については、基本的に公園課で状況に応じて対応しているので、伝えておく。
- ・ 公園などの地域の美化は犯罪の抑止にも通じると考えるが、地域の皆様にもご協力をお願いしたい。
- ・ 特殊詐欺については、家族間の連携が大切。

【内田委員】

- ・ 日野の防犯協会会長が、防犯の歌や踊りを作成していて、それを防犯、交通、防災のイベントにて流している。八王子市も採用してはどうか。

【綿田会長】

- ・ 特殊詐欺対策として、留守番電話にしておくのも効果的と聞かすが、手渡しを防ぐ知恵があれば教えてほしい。

【増田代理】

- ・ あればいいと思うが、これに関しては住人が意識してやって気を付けるよりほかない。不審な電話があった時にちゃんと問い合わせることが重要。警察も巡回して、注意もしているがだまされて被害を受ける方は出てしまう。

【鶴我委員】

- ・ 個人情報の名簿が売買されている。めじろ台でアポ電があった場合は車両での防犯広報をして

いる。

【実川委員】

- ・ だまされたフリ作戦に協力してくれた人から聞いた話だが、「もし自分にそんな電話が来たら遊んでやろうと思っていたが、実際にかかってきたらその電話を疑うことなく信じてしまった。」とのこと。当初は本人にしか渡さないと心に決めていても、何回も渡す場所を変更されているうちに、その気持ちも薄れ、最終的に息子を騙る本人は「今手が離せない、別の者を受け取りに行かせる」と言い、被害者もせっかくここまで来たのだからと承諾してしまった。
- ・ このように、日頃自分は注意深く生活していると思っている人が、対象になっている。
- ・ ご両親や、祖父母と会う機会があるときには、ぜひ「お金の要求はしない」と伝えてほしい。
- ・ ふとしたことで入ってしまう「親心スイッチ」はみんなで防いでいきたい。

【酔屋委員】

- ・ 大阪とか関西の「オバチャン」と呼ばれる方たちは詐欺被害に遭いにくいと聞いたことがある。犯罪件数の比較的にはどうなのか。

【増田代理】

- ・ 関西の方は言い返すから、引っかからないのかもしれない。

4 閉会

【綿田会長】

- ・ 以上で、第21回生活安全対策協議会を閉会します。